

Ⅲ. 専 門 分 野

[精神看護学]

必修科目(36)

科目	精神看護学 精神保健論	単位	1	時間数	30	開講期	2年前期	担当者	田辺 肇
----	----------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	------

講義の概要および学習目標	<p>保健と福祉の結びつきがますます高まってきている看護実践におけるこころのケアについて、理論的、実践的、社会・文化・制度的な諸問題について理解する。</p> <p>特に以下の点に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神看護とこころのケアについての考えと援助のニーズ(と対象)の時代的变化 ・専門家(対人援助専門職者)の「こころ」のとらえ方と関わり方 ・さまざまな現場における精神看護実践の展開(看護師の役割の拡がり) ・医療、看護と精神保健福祉実践の歴史 ・入院患者の処遇と人権擁護
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害と精神保健①: 予防とレジリエンス・障害と人権・生活モデルとエンパワメント(1～2章+別1章) 2 精神障害と精神保健②: 危機理論・ストレス理論(2章) 3 心のはたらきと人格の形成①: 意識・認知・感情・学習・知能・検査(3章) 4 心のはたらきと人格の形成②: 精神力動論(3章) 5 関係の中の間: 家族システム論・グループプロセス(4章) 6 精神科疾患: 精神症状と精神障害(5章) 7 精神科治療: 精神療法と薬物療法(生物学的モデル)(6章) 8 社会の中の精神障害: 歴史・文化・社会・制度(7章+別2～3章) 9 ケアの間関係: 体験過程論・精神力動論・グループプロセス(8章) 10 回復を支援する: リハビリテーションとリカバリー・グループとコミュニティ(9章+別4章): 一次予防と健康教育・社会資源・危機介入(ARMS・自殺・認知症・災害) 11 地域におけるケア①: 地域における生活支援(アドボカシー・社会資源・当事者組織・ストレングスモデル・地域包括ケアシステム・アウトリーチ・家族・ピアサポート・危機介入)(10章+別5章) 12 地域におけるケア②: 学校・職場(10章) 13 入院治療: 入院形態(任意入院・医療保護入院・措置入院)・退院にむけた支援(11章+別6章) 14 精神科と身体ケア・安全・身体科におけるメンタルヘルス(リエゾン・コンサルテーション)・災害時のメンタルヘルス・看護師のメンタルヘルス(12～16章+別7章): 貧困・虐待・依存・子ども虐待・引きこもり・DV・ハラスメント・自傷・犯罪/非行 15 まとめ・試験 <p>※“別”の章は、別巻「精神保健福祉」の章を示す。</p>
評価法	試験(100%)
受講生への要望	<p>テキストに沿って話をしますので、テキスト該当箇所を読んでおいてください。</p> <p>毎回レスポンスシート(意見、質問、感想)の提出をしてもらい、それに応えながら講義を展開します。</p> <p>皆さんが積極的にいろいろなことに関心をもって取り組んでいただけると、講義も盛り上がるので、よろしくお願いします。</p>
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統的看護学講座 専門分野「精神看護の基礎」／武井 麻子 他／医学書院 2) 系統的看護学講座 専門分野「精神看護の展開」／武井 麻子 他／医学書院 3) 系統的看護学講座 別巻「精神保健福祉」／末安 民生 他／医学書院
参考文献	書名／著者名／発行所

必修科目(37)

科目	精神看護学 精神看護概論	単位	1	時間 数	15	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師:河内 友子 精神看護専門看護師
講義の概要および学習目標	<p>精神看護学は、誰もがこころを病む可能性がある現代社会において重要な役割をもつ看護の領域である。看護師として、こころの健康と不健康について考えていくことは、自らのこころの健康を高めることにもつながる。</p> <p>この科目では精神看護の基本的な考え方とこころを病む人の現実的な問題や生きにくさを理解していく。その上で臨地実習で活用できる実践的なこころをケアする方法論について学習する。また精神看護は精神科だけで行われるものではない。ゆえに精神科以外での看護、およびリエゾン精神看護についても学んでいく。看護とは、感情労働である。看護師のメンタルヘルスについて学び、自己のメンタルヘルスを考えていく機会とする。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神看護の特徴と役割を理解する 2 精神障がいのある人の生きにくさについて理解する 3 看護援助方法論の枠組みを理解し、活用できるようイメージする 4 自己理解／他者理解について学び自己を振り返る 5 精神看護における倫理的・管理的な問題を考える 6 リエゾン精神看護の実際と自己のメンタルヘルスについて考える 								
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神看護の基本概念 2 精神障がいのある人の理解 3 精神科看護の特徴 4 看護援助方法論の枠組み 5 リエゾン精神看護 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス 								
評価法	課題レポート、筆記試験、出席状況、授業態度による総合評価								
受講生への要望	<p>こころを病む体験は、普段の生活の中でもおこりうる。そのため、授業で取り上げる事例や内容が学生自身の体験を想起させることがある。こころの問題は自己の体験と結びつけ考えてほしい。しかし、それにより自分自身が追い込まれることのないよう適切な距離を保ち授業に参加してほしい。また本科目での学びは臨地実習で大いに活用できるものである。そのことを踏まえて学習に取り組んでほしい。</p>								
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統的看護学講座 専門分野「精神看護の基礎」／武井 麻子 他／医学書院 2)系統的看護学講座 専門分野「精神看護の展開」／武井 麻子 他／医学書院 								
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)精神看護学ノート 第2版／武井麻子／医学書院 2)感情と看護／武井麻子／医学書院 								

必修科目(38)

科目	精神看護学 精神看護の展開 I	単位	1	時間数	30	開講期	3年 前期	担当者	看護師:河内 友子 精神科病院看護師
----	--------------------	----	---	-----	----	-----	----------	-----	-----------------------

講義の概要および学習目標	<p>本授業は、精神看護学実習の前後に展開される。実習前の講義では、精神障がい者の理解とその援助方法について学んでいく。学生の多くは、精神障がいを有する人との関わりを体験したことがない。そのため、関わりに不安を抱えているものも多い。そんな自己をみつめながら、具体的な援助方法を学ぶことで、精神障がい者との関わりに興味をもてることを期待する。</p> <p>実習後の講義では、精神科認定看護師や病棟看護師から臨床現場の実際を学ぶ。自らの臨地実習での体験を活用することで、精神医療および看護の学びを深めていく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神科看護の技術(観察・コミュニケーション)を理解する 2 精神症状と治療を理解し看護について考える 3 精神障がい者の事例で看護過程を展開する 4 精神医療の現場を知ることで、精神看護について再考する 5 ロールプレイを通して実践的なかわり方を体得する
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神科看護の技術:観察・コミュニケーション 2 統合失調症患者の看護過程の展開* 幻覚妄想状態・無為自閉状態 3 精神症状と看護:うつ状態・躁状態・強迫症状・摂食障害・アルコール依存症 4 治療過程における看護:薬物療法・修正型電気けいれん療法・認知行動療法 生活技能訓練・レクリエーション療法 5 対人関係論・セルフケア論 6 【演習】プロセスレコード・ロールプレイ 7 精神医療における看護管理 8 医療観察法における看護の実際
評価法	授業の出席状況、課題の成果、筆記試験による総合評価とする
受講生への要望	<p>授業の前半は、臨地実習で出会うことの多い精神障がいの疾患における看護を学んでいきます。自分だったらどうか、どう感じるのか、どのようにしたらよいかなど考えていきましょう。また、後半には臨床現場の方の講義もあります。実習での体験を想起しながら学んでいきましょう。科学的看護論を使っでの展開技術では、既習の知識を使って対象の理解から看護の方向性まで捉えていきましょう。</p> <p>精神障がい者との関わりに不安をもっている人も多いと思います。そんな自分も感じ、自由に表現してください。授業の中で不安が軽減され、主体的な学びができることを期待します。</p>
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統的看護学講座 専門分野「精神看護の基礎」／武井 麻子 他／医学書院 2) 系統的看護学講座 専門分野「精神看護の展開」／武井 麻子 他／医学書院 3) ナースが視る病氣／薄井担子／講談社
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者理解への看護の視点／眞田清子 他／日本看護協会出版会 2) 看護のための精神医学／中井久夫／医学書院 3) 援助者必携 はじめての精神科／春日武彦／医学書院 4) 看護場面の再構成／宮本真巳／日本看護協会出版会 5) 精神看護学—学生-患者のストーリーで綴る実習展開／田中美恵子／医歯薬出版株式会社

必修科目(39)

科目	精神看護学 精神看護の展開Ⅱ	単位	1	時間 数	15	開 講 期	3年 前期	担 当 者	看護師:河内 友子 精神科病院看護師
講義の概要および学習目標	<p>精神医療の施策として、長期入院患者の地域移行と地域への定着支援があげられる。しかし、現場での課題は大きく、精神障がい者の地域移行は困難な状態が続いている。その現状を理解するとともに、実際に活用されている社会資源やサービスについて学ぶ。これらの知識と実習での体験を統合し、退院後、精神障がいをもつ人の「その人らしい生活」とは何かを考えていく。</p> <p>また、精神障がい者を支える家族の存在についても学んでいく。家族の存在が、効果的に役割機能を果たすこともあるが、そうでない場合もある。当事者のみならず家族のおかれている実態を理解することから、地域で生活する上での家族の支援を考えていく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障がい者を支える家族の実際を知ること、家族への支援について考える 2 地域移行の現状と社会資源・サービスについて理解し、看護の役割について考える 								
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 凝縮ポートフォリオ共有会 * 精神看護学実習のまとめ 2 地域における精神看護 3 生活を支えるための社会資源・サービス 4 精神障がい者を支える家族の実態と支援 5 地域生活と訪問看護の実際 6 退院後の生活に向けての提案書づくり ① 7 退院後の生活に向けての提案書づくり ② 発表会 								
評価法	授業の出席状況、課題の成果、筆記試験による総合評価とする								
受講生への要望	本講義は、精神看護学実習終了後の講義となります。実習での学びを活かして、精神障がい者が地域で生活するための支援および支える家族について考えていきましょう。								
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統的看護学講座 専門分野「精神看護の基礎」／武井 麻子 他／医学書院 2)系統的看護学講座 専門分野「精神看護の展開」／武井 麻子 他／医学書院 								
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)コミュニティ支援、べてる式／向谷地生良、小林茂 編／金剛出版 2)家族ケア／岡本眞知子、萱間眞美 編／中央法規出版 								